

教材の概要

本教材は、5つの教材で構成されています。1つ目はヒヤリ・ハット体験調査票、2つ目は災害事例調査票、3つ目は危険シナリオ作成表、4つ目は簡易リスクアセスメント（選択式）、5つ目は簡易リスクアセスメント（写真式）です。これらの教材を段階的に使用します。以下に、各教材の概要を示します。

ヒヤリ・ハット体験調査票においては、受講者に対して災害に関する関心を持たせることを期待しています。身の回りで体験したヒヤリ・ハットを洗い出した後、受講者間で意見交換を行うことで学びを促進することができます。

災害事例調査票においては、受講者に対して機械加工作業で想定される災害事例を認識させることを期待しています。ここでは、厚生労働省が公表している職場のあんぜんサイトを活用して調査します。調査後、受講者間で意見交換を行うことで学びを促進することができます。

危険シナリオ作成表においては、調査した災害事例を活用し、災害発生のプロセスを理解させることを期待しています。災害事例調査票には、どのような状況（災害の内容）で、災害（事故の型）になったのかが示されています。これを本教材では、「危険シナリオ」とします。危険シナリオの作成によって、災害発生のプロセスを理解させるとともに、受講者間で意見交換を行うことで学びを促進することができます。

簡易リスクアセスメント手法（選択式、写真式）においては、受講者が簡易リスクアセスメント手法を活用し、機械加工作業で想定される災害についての対策案を検討できることを期待しています。最初に、危険シナリオ作成表によって明らかになった危険シナリオを写真と文章によって示し、リスクアセスメントシートを作成します。ここでは、危険シナリオ作成表の活用だけでなく、リスクアセスメントシート作成者が想定する災害についても示すことで更なる訓練効果が期待できます。その後、記入例に基づいて簡易的にリスクアセスメントを実施します。リスクアセスメントシートは、職業訓練指導員または受講者が作成します。様式は、適宜変更して頂いて構いません。